



選手宣誓をする山形少年サッカークラブの村瀬龍斗君

上半身で相手を防ぎ、ボールを保持する選手(松本清水FC-堀金サッカースポーツ少年団)

雨の降る中、激しく競り合う選手(松本エスティーロ少年サッカースクール-小布施町スポーツ少年団サッカー部)

市民タイムス少年サッカー新人戦

カガミ杯はつらつプレー

中信3チームが8強入り

第28回市民タイムス少年サッカー新人戦、松本市サッカー協会主催、域公園の陸上競技場で開幕した。カガミグループ協賛は、会式を開き、開幕した。

県内の小学生でつくる64チームが出場し、松本市と山形市の8会場で行われ、戦まで56試合を行い、8強を決めた。

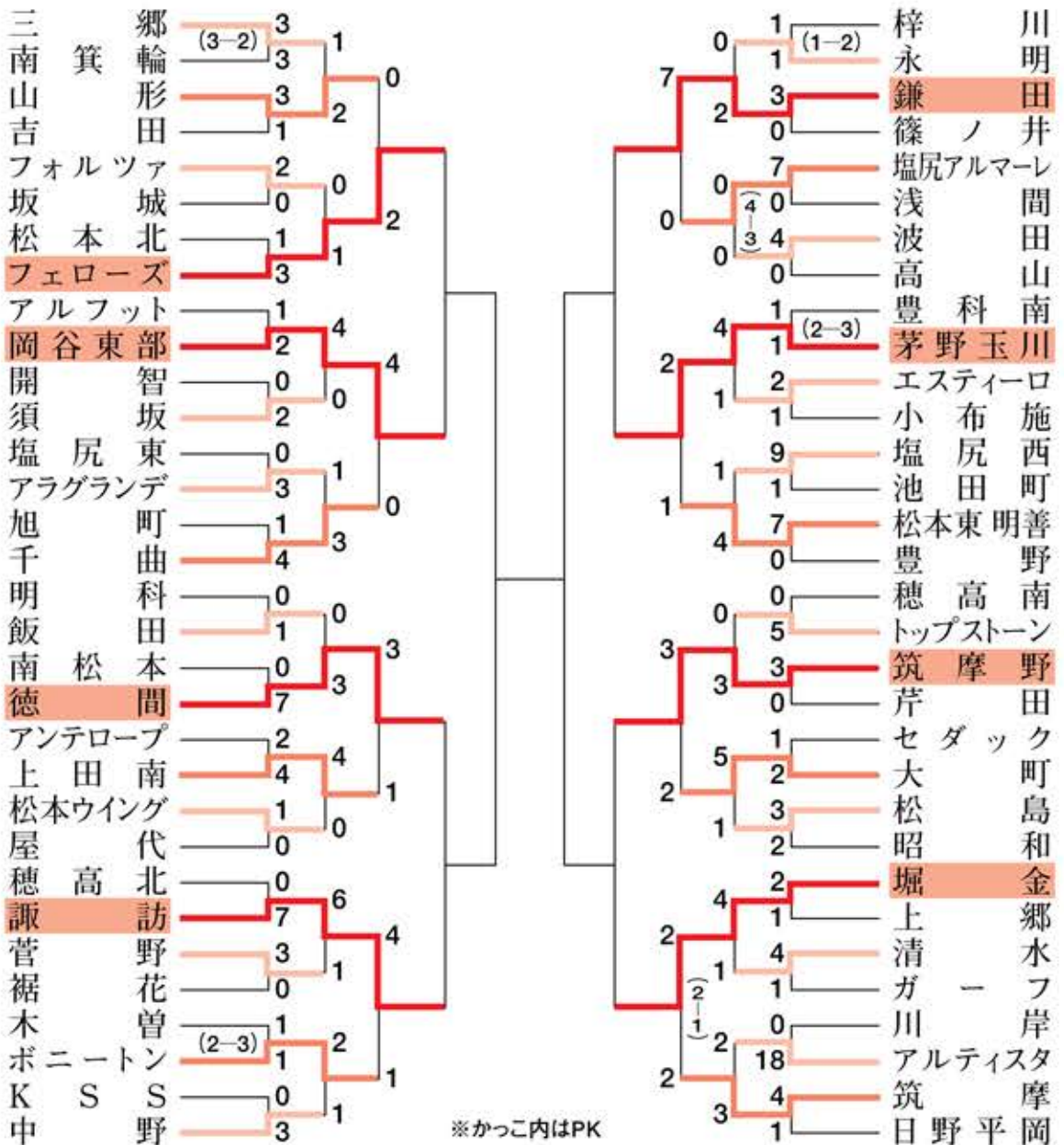
中信地区からは35チームが出場し、筑摩野(松本市)、鎌田(同)、堀金市玉川サッカースポーツ少年団が勝ち上がった。

開会式には選手や家族、大会関係者ら約1700人が参加し、大会長の新保力市民タイムス社長や大会委員長の乾靖松本市サッカースポーツ少年団連合会長らが「支えてくださる人への感謝の気持ちを忘れずにプレーを、よりチームワークを高めてほしい」と激励した。

選手を代表して山形少年サッカークラブのキャプテン・村瀬龍斗君(11)「山形5年」が「日ごろの練習の成果を十分に発揮し、正々堂々と戦うことを誓います」と宣誓した。

大会最終日は16日で、総合球技場アルウィン(松本市)と隣接する芝生グラウンドで準決勝以上の8試合を行う。決勝は午後1時半から予定している。(田子元気)

《タイムス少年サッカー新人戦1日目の結果》



鮮やかなドリブルで相手を抜き去る筑摩野サッカースポーツ少年団の選手



肩を組んでチームメートのPK成功を祈る豊科南サッカークラブの選手たち



スローインをする梓川FCの選手



ドリブルで突破を試みる山形少年サッカークラブの選手